

紙加工品製造業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	4～5	製造2号ラインで、製品の工程検査実施後に、レアーエンド作業場からレアー上作業台へ移動する際に、レアーエンドのステップ台から足を踏み外し、ステップと手摺の隙間に足が挟まり転倒する。その際、前方に設備してあった検査機の土台に左前頭部を打ち、受傷する。	33～299	100
1	14～15	当社工場に於いて作業中、折箱製造の過程に折箱が機械に引っかかり無理して動かした際、右手人差し指が機械に触れ切傷骨折した。	49～29	10
1	16～17	作業場で、ウェットティッシュを巻いているローラーの機械の細かい部分に出てきた所に溜まったほこりを、しゃがんで掃除機で取り除く作業中、立ち上がった時にかぶっている帽子で見えず、機械（スイッチ箱）の角に額をぶつけた。	52～49	30
6	8～9	作業服に着替えて控室から出ようとした時に、入口付近に置いてあった木製パレットに、誤って左足をぶつけてしまい負傷した。	51～29	10
6	17～18	倉庫内で保管している原紙を取り出す為に、手前の小原紙を手で移動させた後、リフトで動かし、小原紙を元の位置に戻す為、軍手を外したまま作業を行ったことにより、手が滑り、横の原紙で右手を打った。	31～499	300
6	16～17	作業場の窓拭きをするため脚立に乗り拭いていたところ、バランスを崩して1m下に飛び降りた際、左足踵を強打した。	76～29	10
		ドライ工場入口のエアーカーテンが外れたため、プラッターのツメを上げ修理を		

7	8~9	行った。修理完了後、プラッターを移動させようとした際に足が滑り、プラッターのツメに脇腹をぶつけ、肋骨を骨折した。一人作業であり、フォークリフトのフォークに乗り、修理を終えてフォークから地上に降り、フォークを下げようとして運転席に向う途中に発生した事故である。	57	100 ~ 299
7	11~ 12	工場の外側から脚立を使用して窓の補強をしているとき、作業終了後に脚立を降りる際に、片足が地面に着いてバランスを崩し、左足を負傷した。	65	50 ~ 99
12	13~14	販売所の駐車場で、古紙回収作業後にトラックの荷台にシートを掛けている際、アオリの上（高さ約2m弱）から傾斜がある所に飛び降りて着地をしたとき、左足踵を強く打ち負傷した。	38	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html